

金属3Dプリンタ活用セミナー7 ー金属3Dプリンタの金型造形における観点ー

浜松工業技術支援センター
浜松センター協議会
静岡県積層造形技術協議会

時下、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

当センターで開催の金属3Dプリンタ活用セミナーも7回目を迎えました。今回は、皆様方から要望の高かった、金型造形に関する内容です。この機会にご参加くださいますよう、御案内申し上げます。

- 1 日時 令和6年6月3日（月） 13:00～16:30
- 2 会場 浜松工業技術支援センター大研修室（浜松市浜名区新都田一丁目3番3号）
- 3 内容 ・講演1（13:05～13:55）50分

「岐阜大学地域連携スマート金型技術研究センターにおける金属積層造形研究」

講師 岐阜大学 地域連携スマート金型技術研究センター センター長 吉田 佳典 氏
概要 岐阜大学金型技術研究センターにおいて、高機能金型および生体インプラントの製造を目標として実施している加工条件最適化や表面凹凸制御の研究事例を紹介いたします。また、独自に開発した塑性変形負荷積層造形技術についても触れます。

- ・講演2（13:55～14:45）50分「ダイキャストの未来が変わる、金属AM金型が変わる」

講師 株式会社日本精機 常務取締役 松原 雅人 氏
概要 アルミダイキャスト金型への金属積層造形（AM）技術適用の現在地として、当社の一貫内製体制とこれまでの成功・失敗事例のご紹介をします。また「金型設計におけるAMの標準仕様化」を目指し取り組んでいる3つのプロジェクトについてご紹介いたします。

- ・講演3（15:00～15:30）30分「ハイブリッド金属3Dプリンタ LUMEXによる金型造形」

講師 株式会社松浦機械製作所 技術本部 開発研究
AM ユーザサポート&マーケットリサーチ担当 シニアチーフ 加藤 直人 氏
概要 2002年に日本で初の金属3Dプリンタとして、また世界で初の造形と切削を併せ持ったハイブリッド金属3Dプリンタとして誕生したLUMEXは、国内では6割以上、海外は9割のユーザが金型を造形しています。今回は射出成形金型の事例を中心に紹介いたします。

- ・講演4（15:30～15:50）20分「浜松工業技術支援センターの金属積層造形への取り組み」

講師 浜松工業技術支援センター 材料科 植松 俊明
概要 当センターの金属3Dプリンタは現在、技術相談や機器使用等に利用されています。これまでに実施した新成長戦略研究事業の取り組みについて紹介いたします。

- ・見学（16:00～16:30）①造形品展示、②金属3Dプリンタ(R4年度当センター導入機器)

4 定員 70名

- 5 申込 静岡県HP内「ふじのくに電子申請システム」にて、4/26（金）からお申込みできます。
https://apply.e-tumo.jp/pref-shizuoka-u/offer/offerList_detail?tempSeq=11935

※送付いただいた個人情報、主催者からの連絡や情報提供・事務処理に利用するとともに、講師に参加者名簿として開示します。

6 〆切 令和6年5月24日（金）（定員に達し次第、募集終了とさせていただきます）

- 7 問い合わせ先 浜松工業技術支援センター tel.053-428-4156 材料科 菅野

